

下呂温泉まつり

毎年 8 月 1 日から 4 日間開かれる下呂温泉まつりは下呂最大のお祭りで、期間中には多種多様な催しや伝統行事が行われます。1 日目は龍神火まつりで幕を開けます。龍神火まつりは、近くを流れる飛騨川に住んでいた龍に関する、椀貸せ湊という地元の伝説が着想源となっています。この龍は、結婚式やその他のお祝い事の際に、椀やその他の食器を貧しい村人に貸してくれ、人々は通常感謝の印に食器を洗ってから龍に返していました。しかしある時、1 人の村人がお祭り用の椀を盗み、龍の怒りを買いました。この龍神火まつりでは、5 体の巨大な龍の人形、たくさんの松明、及び椀の形をした移動式神社（神輿）を用いて、この伝説が再現されます。2 日目には、地元の人々がその神輿を担いで温泉地区を練り歩きます。また、下呂おどしも披露されます。この踊りには誰でも参加でき、伝統的な口唄（浴衣）を着用して参加するのが最もおすすめです。お祭りの 3 日目は、町に繁栄をもたらす温泉の恵みに感謝を捧げる 1 日となり、伝統装束を纏った地元の人々が下呂駅から温泉寺まで練り歩くパレードや、大規模な花火のショーが行われます。花火のショーでは、約 13,000 発の花火が音楽に合わせて打ち上げられます。最終日のプログラムのハイライトは音楽のライブ演奏となります。